



プレス発表資料

平成 21 年 12 月 4 日

秋 田 大 学

中学生がチャレンジ！秋田大学医学部で実験・観察 秋田市立河辺中学校 2 年生を対象にキャリア教育として実施

秋田大学（学長：吉村昇）は 12 月 9 日に、秋田市立河辺中学校 2 年生を対象に、本学医学部においてデジタル顕微鏡を使った血液細胞の観察授業を行います。これは中学生の理科・数学に対する興味関心喚起などを目的とする **JST 科学技術振興機構の「社会とつなぐ理数教育プログラムの開発」事業**において採択された本学の「**理科大好き☆夢発見プロジェクト～人のからだ マクロからミクロ～**」の一環として実施するものです。

本プロジェクトは、平成 22 年までの 2 年間で、**秋田市立河辺中学校**と連携し、「動物のからだのはたらき」分野（特に人体構造や血液）から、人体の主要臓器の働きやその機能障害が引き起こす病気、各疾患の検査や治療、機能回復等を分かりやすく解説した**テキストを開発**します。同時に、中学校理科室でできる実験手順を示した **DVD の作成**や、外部講師の講義や人体の映像資料等、普段の学習では見る機会がない内容を盛り込み、プログラム終了後は、他の中学校授業でも利用できるよう普及を図る予定です。このほか**キャリア教育**として中学生には医療系職業・機関の調べ学習や見学をしてもらい、これらの職への知識を深め、理数系の学習だけでなく教養教育の学習も職業に関わることを理解してもらいます。

中学生には今回の実験を通し、中学理科で学習している血液の成分についての理解を深めるとともにそれが医療の仕事とどうつながっているのか実感してもらいます。

日 時：平成 21 年 12 月 9 日（水） 14：00～16：00

場 所：秋田大学医学部 実習棟・実験棟（基礎）3 階 第 5A 実習室

参 加：秋田市立河辺中学校 2 年生（2 クラス 60 人）

講 師：秋田大学医学部附属病院 腫瘍センター長 廣川 誠 准教授
医学系研究科 川村 公一准教授、 高橋 正人 助教

内 容： ①血液細胞のしくみと役割についての説明
②デジタル顕微鏡であらかじめ取り込んだ血液細胞の観察、スケッチ
③学習内容と医療系職業とのつながりを説明

【参考 URL】：社会とつなぐ理数教育プログラムの開発 平成 21 年度採択機関の決定について

J S T（独立行政法人科学技術振興機構） <http://www.jst.go.jp/pr/info/info647/index.html>

【お問い合わせ先】

秋田大学社会貢献推進室（担当）藤井・武内

電話：018-889-2270 F A X：018-889-3194

e-mail：shakoken@jimu.akita-u.ac.jp / 秋田大学 HP：<http://www.akita-u.ac.jp/>

本道地区施設配置図

Hondo Campus Map



会場：実習棟 3階
第5A実習室